

第3期「日野人げんき！」プラン

令和2年度進捗状況評価報告



日野市健康福祉部健康課

【第3期「日野人げんき！」プランについて】

設定期間:平成28年度～令和2年度

≪目的≫ **健康寿命延伸のための取り組みの推進**

〔取り組みの方向〕 **ヘルスケア・ウエルネス戦略**

上記を掲げ大目標1～8を設定

大目標1～4については本プランで推進。

大目標5～8については他の部門の事業・計画により推進。

【令和2年度評価の方法について】

・評価体制:『主管課評価』→『評価推進委員会』の2段階で実施。

『主管課評価』 取り組みを担当している課が評価

『評価推進委員会』「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づいた構成メンバー

- (1) 公募による市民代表3名
- (2) 医師会推薦1名、歯科医会推薦1名、薬剤師会推薦1名
- (3) 日野市職員3人…健康福祉部長、子ども部長、教育部長

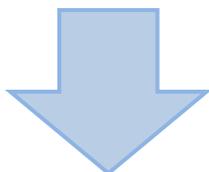
・評価の基準:下記5段階で設定

- | | |
|---------|-------------------------|
| 「達成」 | 指標が10割または完全に達成されている |
| 「順調」 | 指標が約8割達成、または順調に進んでいる |
| 「概ね順調」 | 指標が約5～6割達成、進んでいる |
| 「一部見直し」 | 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要 |
| 「全面見直し」 | 全面的な修正を要する |

令和2年度評価内容

主管課評価

- ・主管課が本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・主管課での評価結果は16の中目標に対し「達成」・・・3、「順調」・・・2、「概ね順調」・・・11
令和元年度に比べ「達成」の評価が減り、「概ね順調」が増えた。（後ページ【参考資料】参照）
- ・数値目標の設定に一般アンケートの結果を用いた目標設定をしている項目では指標に対する実績数値が出せないため、取組み事業の受診者数などの実績数や関連する数値を出し評価につなげた。



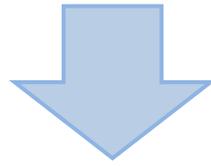
評価推進委員会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を配慮し、書面での評価推進会議を開催。各委員からの意見をまとめ評価結果とした。
- ・上記「主管課評価」をふまえ、中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・「評価推進委員会」の審議結果報告を受け、令和2年度の評価結果として市民へ公表していく。
- ・評価推進委員会での評価結果は16の中目標に対し「達成」・・・3、「順調」・・・2、「おおむね順調」・・・11
新型コロナウイルスの影響により、目標値に届いていないものが多くあったが、コロナ禍における取り組みの工夫について評価された。
- ・「評価推進委員会」の各中目標の結果は次ページ『第3期「日野人げんき！」プラン令和2年度評価概要（評価推進委員会）』を参照してください。



裏ページへ

つづき



評価推進委員会評価結果を受けて

- ・新型コロナウイルスの影響を受け、目標値に届いていない項目が増えたことにより、「順調」が減りましたが、コロナ禍における、事業実施の工夫がみられたことは評価されました。
課題を指摘されている項目については、新型コロナウイルスの影響を踏まえた事業実施、コロナ禍であっても、事業の必要性の周知やデータ分析によるアプローチなど、時代の変化に沿った事業展開が必要とされました。
- ・「評価推進委員会」の評価結果をもって各主管課にフィードバックします。
本評価を含め主管課で検討し、今後の取り組みや改善につなげていきます。

第3期「日野人げんき！」プラン令和2年度評価概要（評価推進委員会）

・評価の基準：下記5段階で設定

「達成」 指標が10割または完全に達成されている

「順調」 指標が約8割達成、または順調に進んでいる

「概ね順調」 指標が約5～6割達成、進んでいる

「一部見直し」 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要

「全面見直し」 全面的な修正を要する

大目標	中目標	中目標への 令和2年度評価	令和2年度評価と課題
1、健康づくりを推進します	1 妊娠出産子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	順調	乳幼児健診はコロナ禍の影響に伴う中止・延期により、受診率は目標値を下回りましたが、コロナ禍の中で感染対策を講じ実施されたことを評価します。妊婦面接を土曜日実施するなど工夫があり、未受診者フォローができていますので、今後も維持をお願いします。
	2 生活習慣病予防（国保特定健診・特定保健指導）を推進します	概ね順調	LINEによる受診勧奨など様々な取り組みが行われていることは評価できます。コロナ禍での健診控えは仕方ないですが、健診の必要性を色々な場面で訴えていく必要があります。より市民の健康への関心の高まりを促すよう検討して下さい。
	3 運動による健康づくりを推進します。	概ね順調	オンライン配信など新たな取り組みにチャレンジした点は評価できます。コロナ禍で多くの人が運動不足となっている今こそ、健康を維持するために運動は重要です。家庭でできるような運動方法をこれからも情報発信してください。
	4 喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組みます	達成	小中学校での禁煙教育の全校実施が引き続き達成されたことは評価できます。将来の喫煙を抑制する上で大きな効果があると考えます。紙巻きタバコだけでなく、加熱式、電子タバコも含めて、若い世代や子どもたちがタバコに手を出さないような教育や環境づくりを継続してください。
	5 心の健康づくりを充実します	概ね順調	コロナ禍であって心身の健康を維持することは重要であり、心の健康づくりへの取り組みはますます重要となっているので、その人に寄り添った対応や情報発信を検討して下さい。
	6 健康づくり推進員・健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します。	概ね順調	コロナ禍において人数を増やすことは今は難しいと思われませんが、引き続き新たな人材の確保に取り組み、安心して活動できる体制づくりを今後もお願いします。
2、がん対策を推進します	1 科学的根拠に基づくがん予防を推進（1次予防）します。	概ね順調	受診率が新型コロナウイルスの影響により伸び悩むのはやむを得ないと考えます。検診の必要性を周知していくことも大切な課題です。また、必要な感染対策を施すことにより、感染の不安なく受診できるということの周知も進めてください。
	2 がんの早期発見を推進（2次予防）します。	概ね順調	コロナ禍の影響により受診率が目標値に届いていないようです。安全・安心な感染症対策を取っていることなど、現状にあった周知を行い、精密検査の必要性を粘り強く訴えていってください。
	3 がんの健康教育およびがんの普及・啓発活動を推進します	達成	全校実施は高く評価できます。対象となる子どもたちは毎年入れ替わると思うので継続して取り組み、がん教育が浸透するよう働きかけていってください。
	4 がん患者やその家族への支援をすすめます	大目標4「住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します」により評価	
3、歯とお口の健康づくりを推進します	1 【乳幼児期】歯みがきや噛む習慣を身につけ、むし歯のない健康なお口を育てます。	順調	全ての項目とも順調に推移していることを評価します。歯の健康は家庭での保護者の意識にも左右されることであり、家庭環境との関わりについても引き続き連携が図れるよう、今後も継続して取り組んでください。
	2 【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし歯と歯周病を予防します。	概ね順調	積極的な歯科の保健活動が実施できたことは評価します。小学校高学年、中学生になると親の目が届かなくなります。歯科治療の重要性を周知するとともに、家庭、学校との連携した取り組みの強化など工夫をお願いします。
	3 【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に健診を受診し自己管理方法を取得することでお口の健康および全身の健康を守ります。	概ね順調	受診率が新型コロナウイルスの影響により伸び悩むのはやむを得ないと考えます。歯の健康に関心のない比較的年配の世代の受診勧奨や、かかりつけ歯科医を持つことの重要性の周知をお願いします。また、対象者が受診しない理由を回答してもらえるような方法も検討して下さい。
	4 【高齢期（障害含む）】自分に合った口腔ケアを実践ししっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます	概ね順調	今後高齢化の進展に伴い、ますます需要が高まる事業のため、他機関とも引き続き連携し、より充実した内容となるよう取り組んでください。また、嚥下機能の低下は自分では気づきにくいので、具体的なオーラルフレイルの情報を周知してください。
4、住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します	1 総合的な健康情報の発信の体制を確立します	達成	多岐にわたり、情報発信が確立されていて、高く評価できます。今後は、発信される情報の内容が、常に読み手を意識して独りよがりにならないよう注意して取り組んでください。
	2 医療と介護の連携を推進します	概ね順調	関係機関との連携構築に関して高く評価できます。多職種との連携を密にする方策をさらに検討し、会議や勉強会などは、積極的にWEBにて実施し、出席しやすい環境整備を行ってください。
	3 地域連携による認知症対策を強化します	概ね順調	認知症支援チームが1チーム増え、2チーム体制に充実したことを評価します。地域での認知症の理解、サポートは不可欠なので、地域全体で関わるができるように継続して取り組んでください。

< 評価詳細 >

令和2年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

1. 健康づくりを推進します

No.	中目標	担当者	数値目標	主管課評価				課内評価		評価推進委員会					
				R2目標	R2実績	実施内容	R2年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題		
				切れ目ない支援を受けた割合											
(1)	妊娠・出産・子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	子ども家庭支援センター	1	妊娠期からの支援を必要とする人が、切れ目ない支援を受けた数値を100%にします。	100%	100%	保健センター内に専用面接室を開設し、土曜日も妊婦面接を実施。	妊婦届出者妊婦1,394人のうち、1,391人に妊婦面接を実施した。	順調	妊婦全数面接は3人とつながることができなかった。その理由としては体調不良であり、面接不可の理由がはっきりしていた。必要な面接はおおむね実施できた。	順調	概ね目標値は達成されている。乳幼児健康診査の受診率に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標に届かなかったが、未受診者フォローができており、全数把握の体制は整っているため、今後も継続していく。	順調	乳幼児健診はコロナ禍の影響に伴う中止・延期により、受診率は目標値を下回りましたが、コロナ禍の中で感染対策を講じ実施されたことを評価します。妊婦面接を土曜日実施するなど工夫があり、未受診者フォローができていますので、今後も維持をお願いします。	
			2	乳幼児健康診査の受診率を98%以上に保ちます。	98%	95%	H27年度からは転入者も含めた適正な対象者とし、未受診者フォローの全数把握に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の影響により、各健診を延期する等の感染防止対策を行った。(3.4か月児健診4月中止、1歳6か月児健診4・5月実施分を6・7月に延期、3歳児健診は4～8月実施分を9月以降に延期した。)	3.4か月児健診 対象者1,443人 受診者1,362人 1歳6か月児健診 対象者1,552人 受診者1,486人 3歳児健診 対象者1,661人 受診者1,590人	概ね順調	3～4か月児健診は94.39%であり、目標の95%を下回っている。1歳6か月児健診は、95.75%であり、目標値を下回った。3歳児健診は、95.7%で目標を下回った。コロナのため目標値は下がったが、感染対策を講じながら実施することができた。					
		健康課	3	接種率の低い二種混合第2期の接種率を80%にします。	80%	87%	対象者に年度初めに勧奨通知を送付。未接種者には再勧奨通知を送付。	対象者 1,593人 接種者 1,396人	順調	予防接種は再勧奨通知を送付することで、目標の接種率を達成することができた。					
		子ども家庭支援センター	4	子ども家庭支援センターとの連携により、健診未受診児の状況を全数把握します。	100%	100%	乳幼児健診未受診者に対し、電話、訪問、ハガキなどによる勧奨を実施。子ども家庭支援センターとの連携強化会議を、年4回実施し情報共有に取り組んだ。	3～4か月児健診未受診児69人中、全数把握。 1歳6か月児健診未受診児68人中、全数把握。 3歳児健診未受診児70人中、全数把握。 コロナ禍ではあったが、全数把握することができた。	達成	未受診児に関しては、子ども家庭支援センターと全数連携しており、全数把握の体制は確立しており把握に努めている。					
(2)	生活習慣病予防(国保特定健康診査・特定保健指導)を推進します	健康課	1	国保特定健康診査の受診率を平成29年度までに60%にしていく。	54%	43.2%	個別受診勧奨(はがき、電話)を実施(保険年金課)。さらに40～64歳の若い世代向けに希望者全員に対して集団健診を実施(健康課)した。また、2月に市LINEにて受診勧奨を実施。	対象者数(R3.5月末現在) 対象者数 23,958人 受診者数 10,361人	概ね順調	受診者数及び受診率は減少しているが、新型コロナウイルスの影響によるものだと考えられる。令和3年度も引き続き、コロナ禍であっても健診が必要であることを市民に周知していく。	概ね順調	受診率の伸び悩みに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響が予想されるが、コロナ禍であっても健診が必要であることを、様々な方法で周知していく必要がある。生活習慣病予防に関する事業全体について、他市の動向も参考に、より市民が健康について関心が持てるように検討していく。	概ね順調	LINEによる受診勧奨など様々な取り組みが行われていることは評価できます。コロナ禍で健診控えは仕方ないですが、健診の必要性を色々な場面で訴えていく必要があります。より市民の健康への関心の高まりを促すよう検討して下さい。	
			保険年金課	2	国保特定保健指導の実施率を平成29年度までに60%にしていく。	25%	R3.11月に確定	新型コロナ感染症の感染予防に留意しながら、面接を実施した。再勧奨ハガキの内容を、生活習慣病予防啓発の内容に変更し送付した。	令和3年3月末時点 対象者数802名 利用者数102名 利用率12.7%	概ね順調					特定健康診査の集団健診時に同日に行っている特定保健指導では、対象者の9割の方に利用いただいている。今後、特定健康診査受診時に特定保健指導が受けられるような体制を検討していく。
			健康課	3	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率を25%以上にしていく。	22%	R3.11月に確定	特定健診全受診者へ生活習慣病のパンフレット配布をした。	H31年度の減少率は21% 該当者 2,734人 リスクさがった人 586人	令和元年度実績で達成					減少率は横ばいであるものの、目標としては達成できている。今後も、特定保健指導の実施率の向上を目指す。また、引き続き全健診対象者へ、健康情報を発信することで市民の意識を高めていく。

No.	中目標	担当者	主管課評価						課内評価		評価推進委員会			
			数値目標		R2年度		実施内容	件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題
			R2目標	R2実績	R2目標	R2実績								
(3)	運動による健康づくりを推進します 第3期「日野人げんき！」 プラン冊子 P27～	健康課	「1回30分以上の軽汗をかく運動を週2日以上」を1年実施している人の割合を60%にしていく。	60.0%	44.7%	運動習慣のきっかけづくりの場としての「健康サポートルーム輝」の運営は、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用人数を制限せざるを得なかったが、日野市HPに「自宅でもできる体操動画」や、コロナ禍でも運動が必要である旨を「ひのつた健康動画」として掲載した。さらに、広報で自粛期間中の運動の必要性についても掲載した。	健康サポートルーム輝 延べ利用人数は2,696人 (新型コロナウイルス感染症の流行により、運営は10～12月の3か月間) 健康サポートルーム輝指導員による運動メニューのYouTube配信(3回) 「ひのつた健康動画」YouTube配信	概ね順調	コロナ禍でも健康を維持するために、「感染予防対策をしてできる運動」「自宅でできる運動」が、引き続き必要とされる。市民のニーズにあわせた情報を提供できるように、周知方法を今後も検討する。	概ね順調	各種媒体を使い、コロナ禍でもできる運動について周知できた。しかし、オンラインでの配信は高齢層の利用が難しいなど限定されがちなため、新たな形の事業展開について今後も検討していく。	概ね順調	オンライン配信など新たな取り組みにチャレンジした点は評価できます。コロナ禍で多くの人が運動不足となっている今こそ、健康を維持するために運動は重要です。家庭でできるような運動方法をこれからも情報発信してください。	
		文化スポーツ課	週1回以上のスポーツ実施率が、都の掲げる世界のトップレベルの70%にしている。	70%	—	令和元年度末から感染拡大の傾向がみられた新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は多くのイベントについて、中止または規模縮小を余儀なくされた。	①市民体育大会への参加者数：5,329人 ②所管する市内各体育施設の年間利用者数：234,882人 ③ロープジャンプ小学生大会：中止 ④市民の森ふれあいホール指定管理による各種運動プログラム参加者数：1,350人 ⑤「ちょこっとウォーキング」参加者数：273人 ⑥「スポーツレクリエーションフェスティバル」：中止 ⑦「障害者スポーツ体験教室や体験会」開催数：23回(オンラインを含むと44回)	概ね順調	イベントの中止・規模縮小ならびに参加者の減少傾向に直面した一方で、感染対策等を徹底し実施機会を模索し、可能な範囲で実施(または施設の開設)にこぎつけた。 令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの影響が続くなかで、これまで実施してきたイベントや施設運営をより安全に展開していくことに加え、オンライン形式でできる事業等、新たな形の検討も求められる。	概ね順調	オンライン配信など新たな取り組みにチャレンジした点は評価できます。コロナ禍で多くの人が運動不足となっている今こそ、健康を維持するために運動は重要です。家庭でできるような運動方法をこれからも情報発信してください。			
(4)	喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組みます 第3期「日野人げんき！」 プラン冊子 P29～	健康課	国保特定健診受診者における喫煙率を11.5%にしていく。	11.5%	10.5%	禁煙の短時間支援の実施 ・がん検診2回(19人に禁煙支援実施) ・集団特定健診(32人に禁煙支援実施) ・商工会で禁煙資料、がん検診の案内配布	達成	日野市での煙草の消費本数は年々減少傾向にある。今後も、健康診査や検診のように本人の健康意識が高まっているタイミングで、喫煙者全員に対する個別の禁煙支援を実施していく。禁煙についての周知啓発は、職域と連携を図りながら働く世代へのアプローチを行う。また、子育て世代への家庭内受動喫煙のリスクについて周知啓発を図る。	達成	喫煙率、喫煙本数からみると数値的には達成しているため、このまま継続して取り組む。また、小中学生向けの禁煙教育については、大変重要な取り組みなので、今後も継続して取り組む必要がある。	達成	小中学校での禁煙教育の全校実施が引き続き達成されたことは評価できます。将来の喫煙を抑制する上で大きな効果があると考えます。紙巻きたばこだけでなく、加熱式、電子たばこも含めて、若い世代や子どもたちがたばこに手を出さないような教育や環境づくりを継続してください。		
		健康課	市内の小中学校で、がん教育と合わせて、喫煙リスクに対する正しい知識の教育を全ての学校で実施していく。	100%(25校)	100%(25校)	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不特定多数を集めるの講話などは中止とし、禁煙の短時間支援やリーフレット配布で喫煙のリスクに関する普及・啓発に取り組んだ。成人の集団健診(がん検診、特定健診)にて、禁煙の短時間支援を実施した。正しい知識の普及・啓発として、商工会でのリーフレット配布、広報ひのつたの禁煙週間の周知を実施した。 今後も、特定保健指導やがん検診等の場、及び職域で啓発活動を行っていく。 小中学生向け禁煙教育については保健体育の学習指導要領に盛り込まれている。また教科書選定の際に生活習慣病の単元の中でがん予防についても触れている教科書を選定している。	達成	小中学生向け禁煙教育については保健体育の学習指導要領に盛り込まれており、また教科書選定の際に生活習慣病の単元の中でがん予防についても触れている教科書を選定する方針のため、小中学校ともに実施率は引き続き100%となる。	達成	小中学校での禁煙教育の全校実施が引き続き達成されたことは評価できます。将来の喫煙を抑制する上で大きな効果があると考えます。紙巻きたばこだけでなく、加熱式、電子たばこも含めて、若い世代や子どもたちがたばこに手を出さないような教育や環境づくりを継続してください。				
		健康課	日野市の一日あたりの喫煙本数を毎年0.04本減らしていく。	3本	2.5本	令和2年度 たばこ本数=142,149,809本 20歳以上人口=154,067 (令和2年1月1日現在)	達成	日野市でのたばこ消費は漸減傾向にある。2020年4月1日から「東京都受動喫煙防止条例」「改正健康増進法」の全面施行により、原則屋内禁煙となったことや喫煙所の減少、たばこ税の引き上げなどによる影響があると思われる。健康課では、たばこの害や禁煙についてなどの普及・啓発を実施した。今後も、他課や保健所等と連携しながら環境面・健康面への対応を行っていく。	達成	日野市でのたばこ消費は漸減傾向にある。2020年4月1日から「東京都受動喫煙防止条例」「改正健康増進法」の全面施行により、原則屋内禁煙となったことや喫煙所の減少、たばこ税の引き上げなどによる影響があると思われる。健康課では、たばこの害や禁煙についてなどの普及・啓発を実施した。今後も、他課や保健所等と連携しながら環境面・健康面への対応を行っていく。	達成	小中学校での禁煙教育の全校実施が引き続き達成されたことは評価できます。将来の喫煙を抑制する上で大きな効果があると考えます。紙巻きたばこだけでなく、加熱式、電子たばこも含めて、若い世代や子どもたちがたばこに手を出さないような教育や環境づくりを継続してください。		

		主管課評価							課内評価		評価推進委員会		
No.	中目標	担当者	数値目標	R2年度		実施内容	件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題
				R2目標	R2実績								
(5)	心の健康づくりを充実します 第3期「日野人げんき！」 プラン冊子 P31～	健康課	1 睡眠で十分休養がとれていない市民を20%に減らしていく。	20.0%	21.5%	<ul style="list-style-type: none"> 市内全戸配布の広報なので、睡眠の質、睡眠が不足した際に起こる健康リスクなどについてコラムを掲載。 不調のサインについての周知のため、日野市ホームページで心の健康づくりに関するページを作成 	<ul style="list-style-type: none"> 広報ひの掲載2回（睡眠、ストレスについて） 日野市ホームページでのページ作成 商工会でリーフレット配布（休養について） 	概ね順調	<p>目標には届いていないが、昨年より改善傾向である。特定健診受診者の問診アンケート内の数値を評価指標としていることから、今後の心の健康づくりについての評価指標を検討していく必要がある。令和2年度は睡眠に特化せず、休養やストレスについての情報発信を行った。今後も、心の健康づくりについての周知啓発に取り組んでいく。</p>	概ね順調	睡眠の質を上げるというのは、大変難しい課題であり、普段の生活が大きく影響するものと考え。心の健康づくりのために、今後も生活の質を上げていく取り組みを強化していく。コロナ禍での自粛生活により、心の健康について問われているため、時代の流れに沿った情報発信をしていく。	概ね順調	コロナ禍にあって心身の健康を維持することは重要であり、心の健康づくりへの取り組みはますます重要となっているので、その人に寄り添った対応や情報発信を検討して下さい。
(6)	健康づくり推進員、健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します 第3期「日野人げんき！」 プラン冊子 P33～	健康課	1 健康づくり推進員の新規人数を増やしていく。	5人	0人	<p>健康づくり推進員の新規人数</p> <p>コロナ禍によりチラシ配布などの積極的な勧誘は行っていない。活動自体も自粛しているため推進員による勧誘も行う機会が持てなかった。</p>	<p>コロナ禍によりチラシ配布などの積極的な勧誘は行っていない。活動自体も自粛しているため推進員による勧誘も行う機会が持てなかった。新規登録者は0名。</p>	概ね順調	<p>推進員、参加者ともに高齢者である為、コロナ禍においては活動は自粛を余儀なくされた。対市民の活動は実施できなかったが、グループの定例会は回数を減らして実施し、活動中の感染対策について話し合い、活動再開に向けて取り組んだ。</p>	概ね順調	<p>健康づくり推進員については、新規人数を増やすためにも、コロナ禍でも安全に活動ができるよう取り組む必要がある。健康体操サポーターについては、順調に人数が増えており、今後も市民のニーズに合わせて体操指導が行われるように取り組んでいく。</p>	概ね順調	<p>コロナ禍において人数を増やすことは今は難しいと思われませんが、引き続き新たな人材の確保に取り組み、安心して活動できる体制づくりを今後もお願いいたします。</p>
			2 健康体操サポーターの新規人数を増やしていく。	2人	3人	<p>健康体操サポーターの新規人数</p> <p>コロナ禍によりチラシ配布などの積極的な勧誘は行っていない。しかし、第9期生希望者は5名応募があったので、現状のサポーターの人数は確保できる見込みである。</p>	<p>第1期生など、ベテランのサポーターが3人サポーターを辞退した。当面の課題はサポーター人数の現状維持になる。</p>	概ね順調	<p>健康体操サポーターの活動を続けるためには、体力と指導技術の向上・維持のため毎月実施する「養成講座」が重要。しかし、コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言で中止せざるを得ないことが度々あり、今後の市民への指導を行うことに支障が出る懸念される。</p>				

大 目 録	3. 歯とお口の健康づくりを推進します
	目標1 歯とお口の健康の大切さを知り、生涯にわたって健口であることを保ちます
	目標2 予防や治療に向けてみんながかかりつけ歯科医を持ち歯科保健医療サービスを適切に活用します

No.	中目標	担当課	取り組み内容	主管課評価				課内評価		評価推進委員会				
				R2目標	R2実績	実施内容	R2年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題	
(1)	【乳幼児期】歯みがきや噛む習慣を身につけ、むし菌のない健康なお口を育てます 第3期「日野げんき！」プラン冊子 P 59～	健康課	1 1歳6か月児でむし菌のある子どもの歯科受診を支援する	1.6歳でむし菌ある児の受診率	100%	100%	1歳6か月児健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施した。	受診勧奨人数：2人	順調	1歳6か月児健診及び3歳児健診時にむし菌がある児に対し、受診勧奨を実施した。フッ素の使用について目標を達成することができなかった。むし菌予防において有効であることを周知するため、1歳6か月児健診でリーフレットを配布し、個別指導時に教育を行う。また、歯科相談や乳幼児健康相談においても相談時に周知することで利用率向上を図る。	順調	歯科受診の支援は順調であるので、このまま継続していく。仕上げ磨きや、口腔ケアはただ行うのではなく、正しい方法で実施することがお口の健康につながるため、ハイリスク者だけではなく、広く正しい方法を周知していけるよう努める。	順調	全ての項目とも順調に推移していることを評価します。歯の健康は家庭での保護者の意識にも左右されることであり、家庭環境との関わりについても引き続き連携が図れるよう、今後も継続して取り組んでください。
			2 3歳児でむし菌のある子どもの歯科受診を支援する	3歳でむし菌ある児の受診率	100%	100%	3歳児健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施した。	受診勧奨人数：31人						
			3 ハイリスク児の歯科受診を支援する	ハイリスク児の歯科受診率	100%	100%	健診時、カンファレンスにあがった子及び地区担が関わっているケース（ハイリスク児）に保健師と一緒に受診勧奨を行った。	受診勧奨人数：2人						
			4 3歳児で仕上げ磨きの毎日実施している保護者の割合	保護者の仕上げ磨き実施率	100%	98.7%	健診アンケートの結果から、保護者が仕上げ磨きをしていない場合は保護者に直接指導を行った。	指導人数：20人						
			5 3歳児でフッ素（歯磨き剤等）を使用して口腔ケアをする保護者の割合	自宅でのフッ素利用率	80%	77.7%	1歳6か月児健診及び3歳児健診時にパンフレットを配布し、フッ素に関する情報提供を実施。フッ素塗布を実施している日野市歯科医会会員一覧を、必要時お渡しした。	フッ素（歯磨き剤等）の使用人数：1,234人						
(2)	【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし菌と歯周病を予防します 第3期「日野げんき！」プラン冊子 P66～	学校課	1 12歳（小学校6年生）で永久歯にむし菌経験がない子どもを増やす	小6までむし菌ない子	85.2%	83.7%	・歯みがきウィークにおける染めだしと講和 ・養護教諭向けの歯科研修会の開催 ・歯と口の健康週間ポスターの児童作成、校内掲示	・歯みがきウィーク期間に開催 ・夏季に1回開催 ・歯みがきウィーク期間中のポスター掲示	概ね順調	・積極的な歯科の保健活動が実施できた ・目標には達成していないが日野市の12歳児は、都内で一番歯が少ない ・継続して児童に歯科への興味づけ、指導を行う	概ね順調	積極的な歯科の保健活動が実施できたことは評価します。小学校高学年、中学生になると親の目が届かなくなります。歯科治療の重要性を周知するとともに、家庭、学校と連携した取り組みの強化など工夫をお願いします。		
			2 中学1年生の要治療者が歯科医院を受診する割合を増やす	中1で要治療＋受診した割合	57.0%	54.9%	・歯の作文募集、コンクールへの参加 ・養護教諭向けの歯科研修会の開催 ・東邦歯科医療専門学校による学校での歯磨き指導 ・歯と口の健康週間ポスター作成、校内掲示	・夏季に1回開催 ・歯みがきウィークのポスター掲示	一部見直し	・積極的な歯科の保健活動が実施できた ・今後も歯科治療の重要性については継続して指導が必要と思われる。	中学1年生で未受診者が4割以上であった。若年層からの口腔ケアの重要性を周知していく必要がある。			

No.	中目標	担当課	主管課評価					課内評価			評価推進委員会		
			取り組み内容		R2年度			年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題
			R2目標	R2実績	実施内容	件数等	達成状況						
(3)	【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に検診を受診し自己管理方法を習得することでお口の健康および全身の健康を守ります 第3期「日野けんき！」プラン冊子 P71	健康課	1 お口の健康診査（歯周病検診）の受診率を上げる	歯周病検診の受診率 16%	6.6%	未受診世代分析の結果から子育て世代と高齢者世代にターゲットを絞り、健康教育を切り口とした受診率向上の取り組みを開始しているが、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度は健康教育や歯科衛生士による電話での受診勧奨の実施を見送った。	受診者数：1,728人	概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響から医療機関の受診を控える動きがあり、受診率が低下したと想定される。受診者の結果をみると各世代ともに要治療者の割合が高く、異常がない割合は低い。歯周病の重症化を防ぐ為にも若い世代からかかりつけ歯科医を持つことのメリットを周知していく必要がある。	概ね順調	コロナ禍においても定期的な健診が重要であることを周知していくため、受診勧奨の内容等情勢に沿ったものにするよう検討が必要である	概ね順調	受診率が新型コロナウイルスの影響により伸び悩むのはやむを得ないと考えます。歯の健康に関心のない比較的若い世代の受診勧奨や、かかりつけ歯科医を持つことの重要性の周知をお願いします。また、対象者が受診しない理由を回答してもらえるような方法も検討して下さい。
(4)	【高齢期・障害のある方も含む】自分にあった口腔ケアを実践し、しっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます 第3期「日野けんき！」プラン冊子 P81	健康課	飲み込み機能低下者への支援体制を展開する、また地域でのフォローできる体制づくりをする。	-	-	いきいき健診通知発送時に飲み込み機能についてセルフチェックができるリーフレットを同封。地域医療機関、地域包括支援センター職員を委員とした協議会を開催し情報共有をはかった。	セルフチェックリーフレット配布約24,000通 介護予防教室にてフレイルミニ講演を実施（6か所）	概ね順調	セルフチェックリーフレットの配布により、飲み込みについての相談窓口が地域の包括支援センターであることは周知できたが、実際の相談・フォロー件数が少数であった。今後も包括支援センターと連携し相談体制を構築するとともに更なる周知方法について検討していく。	概ね順調	連携システムの広がりやチェックリーフレット発送で周知していることについては概ね順調であるが、相談件数の増加に結びついていない。他機関との連携を継続し、機能低下者の相談・フォローへとつなげていくことが必要である。	概ね順調	今後高齢化の進展に伴い、ますます需要が高まる事業のため、他機関とも引き続き連携し、より充実した内容となるよう取り組んでください。また、嚥下機能の低下は自分では気づきにくいので、具体的なオーラルフレイルの情報を周知してください。

大目標 4. 住み慣れた地域で生き暮らされる暮らしへの支援を充実します(地域包括ケアシステムの構築)

No.	中目標	担当課	取り組み内容	主管課評価				課内評価		評価推進委員会			
				R2目標	R2実績	実施内容	R2年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題
(1)	総合的な健康情報の発信の体制を確立します 第3期「日野けんき！」	健康課	1 健康情報誌「ひのイキ」を定期発行する	情報誌の定期発行率 100%	50%	年1回のひのイキ発行を実施。テーマは7月10日号「新型コロナウイルスに負けない身体づくり」	年1回	概ね順調	ひのイキは年1回発行（テーマ：7月10日号「新型コロナウイルスに負けない身体づくり」） 新型コロナウイルス感染拡大により、年1回のみ発行。「ポケットナビ」は妊娠届出時と赤ちゃん訪問時に個別に利用方法を案内し利用を促した。また、アプリ化に向けて検討を重ね、R3.4～運用開始につなげた。フェイスブックは1回/月定期更新。新型コロナウイルスの情報も随時更新をした。フォロワー数304（令和3年4月）。引き続き、健康に関する情報を様々な媒体を通じて発信し、市民の方の行動変容へつながるきっかけづくりに努めていく。	達成	その時に必要なものを発信できているが、どの世代にも必要な情報が行き渡るように今後も検討を重ねていく。	達成	多岐にわたり、情報発信が確立されていて、高く評価できます。今後は、発信される情報の内容が、常に読み手を意識して独りよがりにならないよう注意して取り組んでください。
			子ども家庭支援センター	2 子育てサイト「ほけつとなび」による情報発信を充実する。	「ほけつとなび」の情報発信実施率 100%	100%	妊娠届出時と赤ちゃん訪問時に個別に利用方法等案内	妊娠届出 1,394件 赤ちゃん訪問 1,310件	達成				
		健康課	3 広報、ホームページによる情報発信を工夫する	広報、ホームページへの工夫 100%	100%	ひのつた健康ノートなどを通じて、年間18回情報発信	年18回	達成					
			4 メディアによる情報発信を工夫する	フェイスブック運用実施 100%	100%	①フェイスブックを1回/月更新。フォロワー数304（令和3年4月）。（前年218） ②YouTubeによる、ひのつた健康動画を3回配信	①年20回 ②年3回	達成					
(2)	医療と介護の連携を推進します 第3期「日野けんき！」 プラン冊子 P85～	在宅療養支援課	1 在宅高齢者療養推進協議会の核とした介護と医療の連携推進と強化をする。	—	—	①「在宅高齢者療養推進協議会検討部会」及び「医療と介護の連携推進勉強会」を開催した。検討部会4回、勉強会5回 ②地域包括支援センター主催の地域別勉強会を開催	①検討部会4回、勉強会5回 ②28回 延べ907人	概ね順調	関係多職種による検討部会及び連携推進勉強会は新型コロナウイルス感染症の影響で従来通りの方法で開催するのは困難であったため、オンラインでの代替策での実施となった。これを契機に会議や勉強会の方法や運営方法について今後も検討が必要。（人が集まらなくても良い方法など）	概ね順調	事例検討や勉強会など、コロナ禍でも開催方法を工夫しながら実施している。医療と介護の連携のためには、関係者同士がしっかりとコミュニケーションを図っていくことが必要なので今後も継続していく。	概ね順調	関係機関との連携構築に関して高く評価できます。多職種との連携を密にする方をさらに検討し、会議や勉強会などは、積極的にWEBにて実施し、出席しやすい環境整備を行ってください。
			2 在宅療養支援に関する専門相談窓口での対応と在宅療養に関する普及・啓発をする。	—	—	①市立病院に相談窓口の運営を委託 ②市民啓発用のガイドブック作成（検討部会）	①1,578件（前年度比470件減） ※在宅療養支援課 61件 ②3,000部	順調					
			3 在宅医療・介護の連携体制の構築、連携拠点の整備をする。	—	—	スーパーバイザーによる事例検討会の実施（地域包括支援センター及び関係機関）	延べ235名参加	概ね順調					
			4 在宅医療・介護サービスを一体的かつ切れ目なく提供できる体制整備をする。	—	—	在宅療養高齢者の病床の急変時等の緊急一時的な受け入れ先として、日野市立病院の病床を通常で2床を確保。	入院患者実人数19人、入院延べ日数165日、病床稼働率22.6%（前年度比47.8%減）	一部見直し					
			大目標2-(4)がん患者やその家族への支援 患者家族をサポートする体制づくり	—	—	①在宅医による緩和ケア講座の実施はコロナのため実施できず ②市立病院の患者会のがんカフェへの保健師の派遣	①コロナのため実施せず ②4回参加	概ね順調					

No.	中目標	担当課	取り組み内容	主管課評価					課内評価		評価推進委員会		
				R2目標	R2実績	実施内容	R2年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題
(3)	地域連携による認知症対策を強化します	高齢福祉課	1 認知症サポーターの養成や認知症高齢者徘徊発生時の搜索ツール「靴シール」の導入	—	618人（R2年度までの累計数19,411人）靴シール利用者数 296人（SOSネットワーク登録者のうち 88.1%）	認知症サポーターの養成は地域包括支援センターに業務委託して実施。新型コロナウイルス感染予防のため、感染対策を図り実施した。緊急事態宣言および集合研修としての実施が困難なため、実施回数、人数が減少した。	618人（R2年度までの累計数19,411人）靴シール利用者数 296人（SOSネットワーク登録者のうち 88.1%）	概ね順調	・認知症サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施した。令和元年度に比べ、養成者数は前年度に比べて減少となったが、養成目標値は達成している。令和3年度は、オンライン講座の開催を検討する。また、若年性認知症に対する企業側（雇用側）の理解を促進するための企業向け認知症サポーター養成講座に取り組む。 ・徘徊高齢者等探索サービス、靴シール、メール配信システム等による対策をすすめている。認知症SOSネットワークの登録者数も増加している。今後は情報配信メール登録者数の増加に取組む。	概ね順調	認知症には家族、地域の理解がとても重要なので、正しい知識のもと、認知症患者をサポートできるよう今後も取り組みを継続していく。	概ね順調	認知症支援チームが1チーム増え、2チーム体制に充実したことを評価します。地域での認知症の理解、サポートは不可欠なので、地域全体で関わるができるように継続して取り組んでください。
			2 「医療連携型認知症カフェ」及び「認知症初期集中支援チーム」の設置をする	—	認知症初期集中支援チームは令和2年度より七生病院を加え、2チームで実施	「認知症初期集中支援チーム」及び「医療連携型認知症カフェ」を多摩平の森の病院（地域連携型認知症患者医療センターの機能を有する）に業務委託して実施。「医療連携型認知症カフェ」名称：森の茶屋 どちらも、新型コロナウイルス感染予防のため4月から5月は中止	「認知症初期集中支援チーム」相談件数：実数12件（初回相談件数）、延べ数19件、訪問件数：実数18件、延べ数95件 「医療連携型認知症カフェ」利用延べ人数：85人（うち家族40人、本人16人、地域28人、その他1人）	概ね順調	・認知症初期集中支援チームは令和2年度より七生病院が加わり、2チーム体制となった。新型コロナウイルス感染症予防のため、訪問ができない期間が長くあり、訪問に代わり、電話相談につなげて実施した。今後も2チームの支援体制の構築に取り組む。 ・認知症カフェの設置数は目標値を達成しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、開催できないカフェが3か所あった。感染対策を講じながら開催できるように、オンライン開催を検討する。医療連携型の特色を生かした地域への横の展開について他のカフェと連携し推進していく。	概ね順調			